

## 役割演技

### —考え、議論する道徳を彩るロール・プレイング—

#### ● 講 師 赤堀 博行 先生（帝京大学教育学部教授）

#### ～役割演技の理論的な考えを知り、実践へつなげよう～

役割演技(ロール・プレイング)とは、教材中の特定場面や状況における登場人物を演じることで、子どもがその人物が対人的に、あるいは対集团的にどのように関わっているのかを自らの経験などを基に認識し、問題解決に向かって考える活動を行うことです。

現行学習指導要領が施行されて以降、役割演技は、これまでに増して、多くの道徳科の授業で活用されるようになりました。道徳科における表現活動は、多岐にわたり、指導の工夫も多様ですが、役割演技の活用は、その特質を理解した上で工夫する必要があります。

本研修では、役割演技の基本的な考え方と、役割演技を活用した具体的な授業実践の方法について学びを深めましょう。

#### ● 日 時 令和7年7月27日(日) 10:00～16:00 (内、休憩1時間)受付:9:30～

- 会 場 武蔵野大学 武蔵野キャンパス5号館 グリーンホール  
(〒202-8585東京都西東京市新町一丁目1番20号)
- アクセス JR中央線吉祥寺駅 北口1番乗場よりバス15分「武蔵野大学」下車すぐ  
京王井の頭線吉祥寺駅 (同上)  
JR中央線三鷹駅 北口3番乗場よりバス10分「武蔵野大学」下車すぐ  
JR中央線武蔵境駅 北口3番乗場よりバス7分「武蔵野大学」下車すぐ
- 参加費 会員5000円、非会員5500円、学生2000円(当日払い)  
恐れ入りますが、お釣りがいらぬようにご用意いただけましたら幸いです。
- 申込方法 下記のいずれかの方法にてお申込みください。  
定員30名です。先着順で調整いたします。(締切:7/22(火))
  - ① 日本心理劇学会ホームページ「研修会」申込フォームからご入力ください。
  - ② QRコードからの入力も可能です。⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒
  - ③ 定員に余裕がある場合は、当日受付も可能です。



参考図書 1 『役割演技 —考え、議論する道徳を彩る—』  
赤堀博行著 (東洋館出版社)2025年

参考図書 2 『心理劇入門 理論と実践から学ぶ』

日本心理劇学会 監修 土屋 明美・茨木 博子・吉川 晴美 編著  
(慶應義塾大学出版会)2020年

- 本研修会は、心理劇ディレクター・スーパーバイザー資格認定の申請の際に求められる参加時間としてカウントされます。

- 【注意事項】
- ◆ 参加者による録音・録画等はお断りします。  
研修記録は研修委員会の責任において録音(録画)し保管させていただきます。
  - ◆ 研修会全課程参加者には、研修修了証を発行します。
  - ◆ 臨床心理士の方は、資格更新のための研修ポイント(2ポイント)となります。
  - ◆ 当日の連絡先は参加申込後にお送りします。

<問い合わせ先>日本心理劇学会 研修委員会

E-mail: [sinrigeki.kensyuu@gmail.com](mailto:sinrigeki.kensyuu@gmail.com)

## 講師からのメッセージ

# 赤堀 博行 先生

(帝京大学教授、元文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官)

- 小、中学校の教育課程に、1958年から道德の授業が位置付いています。
- 道德授業は、子供たちが将来出会うであろう様々な場面・状況においても、道德的価値を実現するための適切な行為を主体的に選択し、実践できるような資質を育てることを目的としています。
- 授業者は、子供たちが道德的価値に関わる様々な事象を、自分事として考える指導を工夫します。そのひとつに、動作化、役割演技など表現活動の工夫があります。
- 子供が表現する活動の方法としては、自分の考えを発表したり書いたりすることのほかに、子供に特定の役割を与えて即興的に演技する役割演技(ロール・プレイング)の工夫、動きや言葉を模倣して理解を深める動作化の工夫などがあります。
- 道德授業に、道德的行為に関する体験的な学習等を取り入れる工夫が求められたことから、役割演技を活用する授業が増えています。
- こうした背景から、道德授業における役割演技のよさや課題を考えます。

## プロフィール

帝京大学教育学部教授

昭和35年東京都生まれ。都内公立小学校教諭、調布市教育委員会指導主事、東京都教育庁指導部義務教育心身障害教育指導課指導主事、同統括指導主事、東京都知事本局企画調整部企画調整課調整主査(治安対策担当)、東京都教育庁指導部指導企画課統括指導主事、東京都教育庁指導部主任指導主事(教育課程・教育経営担当)、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官・国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官を経て、現職。

教諭時代は、道德の時間の授業実践、生徒指導に、指導主事時代は、道德授業の地区公開講座の充実、教育課程関係資料の作成などに尽力する。

この間、平成4年度文部省道德教育推進状況調査研究協力者、平成6年度文部省小学校道德教育推進指導資料作成協力者「うばわれた自由(ビデオ資料)」、平成14年度文部科学省道德教育推進指導資料作成協力者「心のノートを生かした道德教育の展開」、平成15年度文部科学省生徒指導推進指導資料作成協力者「非行防止教育実践事例集」、『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科道德編』の作成に関わる。

主な著作物に『道德教育で大切なこと』『道德授業で大切なこと』『「特別の教科 道德」で大切なこと』『道德の評価で大切なこと』『道德的価値の見方・考え方』『中学校教師1年目のための道德の基本』(東洋館出版社)、『心を育てる要の道德授業』(文溪堂)、『道德授業の発問構成』(教育出版)などがある。